

(様式6号)

我湖小40号

令和4年11月25日

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立湖北小学校 学校運営協議会
会長 太田 悟

令和4年度 第3回学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定について、次のとおり報告します。

出席者氏名：太田 悟・星野 朋則・古内 新一・海老原 純子・藤井 明美・吉田 千代子・城 健夫
長田 英一・甘利 尚資

記録者氏名：甘利 尚資

(令和4年11月18日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 開会	副会長	開会の挨拶
2. 校長挨拶	校長	時候の挨拶と学校の近況の説明
3. 音楽発表会の感想	委員1	発表学年も見ている児童もとても落ち着いていた。発表は、学年によって力の差がよく分かり、他学年の発表を見ることで、児童に良い影響を与えていると思う。少し冷える体育館内で、座布団(防災ずきん)を持ってきている学年とそうでない学年がいるのが気になった。
	校長	学校全体で共通理解していく。
	委員2	1年、3年、5年の成長の様子がよく分かる発表だった。まるで、自分の子の成長を見ているように感じた。
	委員3	元気な発表だった。1年生は、とても上手で、曲調に合わせて、衣装を工夫するのはよいアイデアだった。5年生の合唱レベルが高く、指導が良く出来ている。指揮者も上手だった。
	委員4	1年生の発表を見て、ほっとさせられた。(前者と同様の内容)

4. 外部ボランティアの要請について	委員 5	学年ごとに特色が出ていた。3年生のリコーダーがとても良かった。5年生の合唱も素晴らしい。マスクを付けての合唱だったが、マスク無しの合唱が見られるようになってほしいと思う。
	委員 6	伴奏や指揮を教員が行っていたが、児童の活躍する場面を増やすという観点から、出来るだけ子どもたちが出来るように指導して欲しい。高学年になるほど、上手になっているのはよい。これまで、中止をしていた音楽発表会が4年ぶりに実施出来たことはよかった。児童も落ち着いて取り組んでいた。
	校長	教員の働き方改革を進めていく過程や個に応じた指導、家庭環境の複雑化によって、学校職員だけでは、手に負えない状況を感じている。子どもたちの学校生活をより充実させるため、外部のボランティアの協力をお願いしたいと考えている。
	委員	学校の要望が分かれば、地域の民生委員が協力できることがある。地域の中で気にしている児童やご家庭があるが、声をかけて良いのか戸惑っている。学校と連携したいと考えている。
	校長	気になる児童としては、外国人を親に持つ児童の日本語指導や職員の学校事務の補助をお願いしたい。日本語指導については、地域の方のボランティアをお願いしているが、その方の負担軽減や継続的な指導を目指している。
	委員	ボランティアについては、地域の特性を生かし、湖北小 OB をお願いしてはどうか。自転車の事故が多いので、交通指導などがお願いできるのでないかと思う。
	委員	学生ボランティアや教員 OB の活用が考えられるが、いれば良いというのではなく、供給と需要の関係が上手く合うかが課題。継続的に活動する観点から、有償ボランティアとしての活用を考えていく必要がある。
	委員	小学校は、教員がほぼ全教科を指導することが負担になっているのではないか。体育や書写などそれぞれの教員の得意分野を生かせる教科担任制を進めていくことも大切だと思う。
委員	地域の外国人の子どもの宿題を教えたり、その親の面倒を見たりする	

5. 学校評価について	委員	<p>時がある。丁寧に説明しなければ、何をすべきかが分からない事が多い。そういった児童や保護者にどのように対応していくかが課題である。</p> <p>ボランティアは、学生などを集めて、寺子屋を開いてはどうか。年代によって教え方に違いがある。学習については、年齢の近い若い人たちの頼むのがよいと思う。高学年に関しては、中学校の視点にたち教科担任生を進めていくのがよいと思う。</p>
6. 質疑応答	教頭	資料にて説明
7. 諸連絡	教頭	特になし
7 閉会	副会長	次回開催日の告知 閉会の挨拶

傍聴人 0人（発言者数0名）